





行事報告書(研修)

報告者：華崎律子 溝部浩二

行事名	自然観察会
実施日時	2018年4月12日(木) 10時～14時30分 天候: 晴
場所	甲山森林公園、なかよし池
テーマ	早春の植物観察
講師	児玉勝久さん、大橋正規さん
参加者数	53名
内容(概要)	<p>今年度最初の研修会は、新入会員(18名中8名参加)の紹介と自然観察会の幹事紹介で始まった。2班に分けて実施し、A班は新入会員を含め18名で児玉さんの指導のもと室内の講義と自然観察を行った。B班のベテラン組35名は大橋さん、飯盛さんの案内で自然観察を行った。</p> <p>【A班の観察状況】 観察コース:中央入口～西入口～桜広場～梅林～噴水広場～野外ステージ(昼食)～展望台～(展葉調査ルート)～管理事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児玉さんから ①甲山公園の説明 ②これまでの気象について ③樹木モクレンについて ④木々の目覚め、展葉についての講義を受けた。気象や地質などに植物が影響を受けていることが理解できたように思う。 ・クヌギの雄花序を観察する。クヌギの雄花序は2年枝か1年枝の下部から垂れさがる。雌花は1年枝の上部の葉腋につく。小さく目立たない。 ・コバミツバツツジ、サイフリボクが満開で見ごたえがあった。 ・オオバヤシャブシとヤシャブシの違いを観察する。オオバヤシャブシの実は1個直立するが、ヤシャブシは1～3個。 ・噴水広場からの道の横の生垣にドウダンツツジ、アセビ、サルトリイバラ、イヌマキ、アラカシ、クチナシなど様々な樹木が植えられている。 ・イロハモミジの花を観察する。両性花の中には翼果(プロペラ)ができてきているものもあった。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>講義風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オオバヤシャブシの托葉</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ミツバアケビ 雌花と雄花</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イヌンデ 展葉</p> </div> </div>

【B 班の観察状況】

観察コース:中央入口～西入口～桜広場～噴水広場～北入口～なかよし池(昼食)～北入口～大阪城刻印石～展望台～(展葉調査ルート)～大阪城石丁場跡～管理事務所

- ・大橋さんから最初に裸子植物のクロマツの説明があった。受粉は春だが受精するのは翌年の春で、種子が熟すのはその年の秋であるとのこと。
- ・中央入口付近でスマレを観察。スマレの見分け方として、スマレの仲間は茎のあるものと茎の無いものに分けられるとの説明があった。
- ・西入口へ向かう道でドングリの成る樹木(アラカシ、コナラ、ウバメガシなど)を観察する。これらの樹木では風媒花である雄花が咲いているものが目立った。
- ・サトザクラが満開となり見ごたえがあった。噴水広場ではクスノキの話聞いた。かつて樟脳を取ったほかにセルロイドの原料にもなって需要があったとのことである。
- ・植え替えられたハナノキを観察、やや元気がないように見えた。カスミザクラが満開に咲いており見ごたえがあった。
- ・北入口～なかよし池の小道はコバノミツバツツジがたくさん咲いていて早春の雰囲気を満喫できた。アリジゴクを見つけた。アリが引き込まれていく様子も観察できた。
- ・なかよし池ではマルバヤナギが雄花をたくさん付けており壮観であった。
- ・展望台への道や展葉調査ルートでセイヨウバクチノキやザイフリボクの花を観察した。今年は全般的に樹木の花の開花や展葉が例年に比べ少なくとも1週間～10日早いようだ。
- ・飯盛さんから「徳川大坂城東六甲採石場跡」の説明を受ける。今年2月に国史跡に認定された。案内板が建てられ見学ルートも整備された。徳川幕府は1620年から8年程の間に西国の大名に対し大坂城の外郭工事を命じた。ここ甲山付近は九州佐賀の鍋島藩が花崗岩の切り出しを行った。



クロマツ (マツ科) 球果
雌花が受精して大きくなった。



アラカシ (ブナ科)
垂れ下がる雄花穂



サトザクラ (バラ科)
枝は太く湾曲している。



カスミザクラ (バラ科)
花弁は小型で花柄に毛がある。
葉裏は光沢がある。



アリジゴク



マルバヤナギ (ヤナギ科) 別名アカメヤナギ



セイヨウバクチノキ (バラ科)



石材を割り取るクサビの跡と
鍋島藩の刻印



ザイフリボク (バラ科) 別名
シデザクラ